

令和 6 年度 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 上里町社会福祉協議会

令和6年度社会福祉法人上里町社会福祉協議会事業報告

第1 令和6年度事業の概要

社会を取り巻く環境の変化は大きく、家族がいない、疎遠、関係性が悪いなど家族・親族に頼れない高齢者等が増加しています。孤独・孤立の問題が広がる一方で、地縁を基盤としたサロン活動など小地域福祉活動の担い手不足や高齢化などの課題も顕在化しています。

また、ひきこもりやDV、児童虐待、生活困窮などの従来の福祉制度の枠組みでは対応できない困難な課題が増大するとともに多様化しています。

このような中、本会は地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことが出来る「福祉のまちづくり」の実現を目指し、地域住民等の主体的な取り組みと協働しながら、地域の福祉力を高め、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいを持って、支え合いながら暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けてさまざまな事業に取り組みました。

地域福祉の充実に向けて策定した「第2期上里町地域福祉活動計画」（令和5年度～令和9年度）の評価・検証を行いながら、社会の変化に伴う地域課題と向き合い、町民の皆さまに寄り添った地域福祉活動の展開を図りました。

第2 重点項目

1 相談・援助活動及び権利擁護の推進

複合・複雑化する支援ニーズや制度の狭間にある諸問題に対応するため、コミュニティソーシャルワーカーや生活支援コーディネーターが調整役となり、介護、障害、子ども、生活困窮等の分野を問わない包括的相談支援を推進し、伴走型支援の機能強化を図りました。

2 誰もが「お互い様」の気持ちで支え合う地域づくりの推進

一人ひとりが地域の中で暮らし続けられるように、住民同士の顔が見える関係づくりを目指して地域課題を把握し、関係機関等と連携しながら、地域住民の参加を主体とした支え合いの地域づくりを積極的に推進しました。

また、福祉活動が地域における多世代の交流や多様な活躍の場となるように各種事業に取り組みました。

3 ボランティアセンターの機能強化

子どもたちに福祉の「種」を芽生えさせる福祉教育や小・中学生を対象にしたボランティアスクール、各種福祉講座等を開催し、住民同士が支え合う福祉の心が育まれる取り組みに注力しました。

また、『上里町地域防災計画』において、災害ボランティアセンターを担う組織として、災害ボランティアセンター運営研修会を実施し災害時の対応を想定した体制整備を図りました。

4 安心・安全な介護保険事業等の提供

居宅介護支援、訪問介護の事業所では、利用者の健康と安全を守り、暮らしを支える介護専門職として、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上を図りました。

また、令和6年度の介護報酬改定の基本的な視点である感染症や災害への対応力向上、高齢者虐待防止の推進、介護職員の処遇改善、生産性の向上を通じた働きやすい環境整備にも努めました。

5 法人運営の機能強化

公益性と非営利性をもつ社会福祉法人として、住民参加の地域福祉を推進する社会福祉協議会として、関係法令を遵守し、地域住民から信頼を得られる法人運営を行いました。

また、地域福祉事業の自主財源確保への取組みとして、昨年度に引き続き町内の企業、法人等を訪問し、社会福祉協議会の活動内容についてPRを行い、賛同を得た企業・法人等に法人会員に加入していただきました。

職員の資質向上のため各種研修会へ参加するとともに、事業実施のための体制整備にも努めました。

第3 実施事業

1 会務の運営

名 称	開催年月日	内 容
理事会	6 年 5 月 30 日	上里町社会福祉協議会居宅ヘルパーステーション運営規程の変更について 上里町社会福祉協議会ヘルパーステーション居宅介護等運営規程の変更について 上里町社会福祉協議会居宅介護支援センター運営規程の変更について 評議員選任・解任委員会の開催について 評議員の推薦について 評議員会の開催について 令和5年度事業報告について 令和5年度収入支出決算について 理事の選出について 令和6年度事業計画の一部変更について
	6 年 11 月 29 日	上里町社会福祉協議会非常勤職員就業規則の変更について 上里町社会福祉協議会常勤嘱託職員就業規則の変更について 上里町社会福祉協議会登録ホームヘルパー就業規則の変更について

名 称	開催年月日	内 容
理事会	7 年 1 月 27 日	令和 6 年度収入支出補正予算について 評議員会の開催について 第 2 3 回上里町社会福祉大会における社協会長表彰者及び感謝状贈呈者の選考について
	7 年 3 月 19 日	上里町社会福祉協議会給与規程の変更について 上里町社会福祉協議会非常勤職員就業規則の変更について 上里町社会福祉協議会常勤嘱託職員就業規則の変更について 役員等賠償責任保険の契約について 上里町社会福祉協議会福祉資金貸付金償還不能欠損処分について 令和 7 年度事業計画について 令和 7 年度収入支出予算について 評議員会の開催について
評議員会	6 年 6 月 17 日	上里町社会福祉協議会居宅ヘルパーステーション運営規程の変更について 上里町社会福祉協議会ヘルパーステーション居宅介護等運営規程の変更について 上里町社会福祉協議会居宅介護支援センター運営規程の変更について 理事の選任について 令和 5 年度事業報告について 令和 5 年度収入支出決算について 令和 6 年度事業計画の一部変更について
	7 年 2 月 12 日	令和 6 年度収入支出補正予算について
	7 月 3 月 27 日	上里町社会福祉協議会給与規程の変更について 上里町社会福祉協議会非常勤職員就業規則の変更について 上里町社会福祉協議会常勤嘱託職員就業規則の変更について 上里町社会福祉協議会福祉資金貸付金償還不能欠損処分について 令和 7 年度事業計画について 令和 7 年度収入支出予算について
監査会	6 年 5 月 21 日	令和 5 年度事業報告及び令和 5 年度収入支出決算の監査について
評議員選任・解任委員会	6 年 6 月 6 日	評議員の選任について

名 称	開催年月日	内 容
第 23 回上里町 社会福祉大会 運営委員会	6 年 11 月 29 日	実施要項について 表彰について
	7 年 1 月 27 日	大会宣言について
社会福祉協議会 支部三役会	6 年 9 月 26 日	令和 6 年度補助金交付について 令和 6 年度事業（各支部）について 情報交換 地域支え合い活動について
感 染 症 対 策 委員会	6 年 7 月 4 日	委員会の目的について 委員長の選出について 指針について 今後の予定について、その他
	6 年 11 月 14 日	感染症にかかる現状の問題点 感染対策の手引き、マニュアル、指針等の見直し 業務継続計画（BCP）との関連 今後の予定について、その他
歳末たすけあい 募金配分委員会	6 年 12 月 18 日	募金実績額の配分について 配分方法について
虐待防止委員会 及び身体拘束 等適正化委員会	7 年 3 月 5 日	委員名簿の変更について 虐待防止・身体拘束等適正化研修について 今後の取り組みについて その他
ふれあいサロン 代表者会議	7 年 3 月 19 日	各サロンの活動紹介 出前講座、ボランティア、貸出物品のご案内 その他 のぼり旗の配付

2 各事業の推進

(1) 法人運営事業

ア 社会福祉協議会会員会費募集

町民・区長・地区役員等のご協力により、募集期間である 8 月を中心に社協会員会費募集の推進を行い、多くの皆さまから会費を納入いただきました。

また、地域福祉事業の自主財源確保への取組みとして、企業を対象とした法人会員の募集を昨年度に引き続き実施しました。

令和 6 年度社協法人会員会費実績額 （1 口 5,000 円）

口数	1 口	2 口	3 口	4 口	合計
件数	16	3	0	1	20
会費合計 (円)	80,000	30,000	0	20,000	130,000

令和6年度社協会員会費実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
普通（件）	1,040	1,040	1,297	2,508	1,181	7,066
特別（件）	4	4	20	21	19	68
会員合計（件）	1,044	1,044	1,317	2,529	1,200	7,134
会費合計（円）	524,000	524,000	668,500	1,275,000	609,500	3,601,000
寄付（円）	1,800	0	3,800	2,500	5,600	13,700
総計金額（円）	525,800	524,000	672,300	1,277,500	615,100	3,614,700
加入率（％）	67	90	61	66	58	66

イ 福祉協力校事業

福祉教育の推進を図るため、町内の小・中学校への福祉活動に対しての助成を行いました。（助成金 小学校 30,000 円／校、中学校 40,000 円／校）

ウ 彩の国あんしんセーフティネット事業の推進

町内福祉施設と協働し、生活困窮に陥った方を救済する事業です。訪問・相談等を行い、経済的援助（食料の現物支給（購入費支援）等）や利用できる制度の紹介等、自立に向けた支援を行いました。

（相談 7 件、支援件数 2 件（食料、ガス代、ガソリン代））

エ アスポート相談支援事業への協力

アスポート相談支援センターと協働し、生活困窮者の相談に応じ、自立に向けての支援を行いました。

オ 収集リサイクル活動

ペットボトルキャップ、使用済みインクカートリッジ、使用済み切手及び書き損じはがきの回収等、リサイクル事業とその取り組みによる寄付を通しての福祉活動を推進しました。

カ 第23回上里町社会福祉大会の開催

福祉に功績のあった方々の表彰及び町民の福祉に対する理解と関心を高め、地域福祉の一層の推進を図るため、2月24日（月・振替休日）ワープ上里において、第23回上里町社会福祉大会を開催しました。

- ・式典（大会宣言、表彰：表彰者 33 名、感謝状贈呈者 2 名 16 団体）
- ・アトラクション（中国雑技団パフォーマンショー）
- ・ボランティア団体及び福祉施設等の紹介展示
- ・こむぎっち缶バッジ作り体験

キ 実習生受入れ事業

次世代の福祉従事者を育成するために、福祉系の大学から、社会福祉士の国家資格取得を目指す実習生の受入れを行いました。指導を通じ、職員の意識の向上や職場の活性化を図りました。

- ・実習期間 8月5日（月）～ 9月19日（木）のうち27日間

(2) 共同募金配分金事業

ア ふれあい交流事業

第23回上里町社会福祉大会の第2部アトラクションとして、ボランティア等の協力を得て中国雑技団（オフィス神業）によるパフォーマンスショーを開催しました。高齢者をはじめ児童及びその保護者等、多世代の方が来場。社会福祉大会との同時開催により、福祉を身近に感じていただく機会となりました。

イ 社会福祉協議会支部事業の推進

小学校区単位に組織された5つの社会福祉協議会支部が、それぞれの地域に根ざしたきめ細かな各種福祉事業を実施しました。

- ・ひとり暮らし高齢者見守り活動(5支部)
- ・児童の下校見守り活動(長幡)
- ・地域支え合い活動（神保原） 他

ウ 広報・調査活動

ホームページ、フェイスブックで随時の情報発信、社協だより、町広報紙への記事掲載等で、情報提供や活動報告を行い、社会福祉協議会をはじめ、ボランティアセンター、ヘルパーステーションのPRを行いました。

また、民生委員・児童委員のご協力により、ひとり暮らし高齢者等の社会調査(ひとり暮らし高齢者見守り台帳の更新)を実施しました。

(3) 地域福祉活動事業

ア スマイル訪問

民生委員・児童委員の見守り活動の一環として、一定の要件を満たす70歳以上のひとり暮らし高齢者宅へ、日用品等を持参しながら、3か月に1回の訪問と声かけを行っていただきました。

(延べ訪問者数：1,622名、1回あたり平均訪問者数405人)

イ 紙おむつ等購入支援事業

在宅において日常的に紙おむつ等を使用している方に対し、紙おむつ等購入に要する費用の一部を支援することで、本人や家族の費用負担の軽減を図るとともに、在宅生活の継続と質的向上を図ることを目的として、紙おむつ購入支援事業を実施しました。

(利用人数 77名)

ウ 在宅高齢者等介護用電動ベッド貸与事業

一時的に介護用ベッドが必要な高齢者等に無料で最長 6 ヶ月間介護用電動ベッドの貸与を行いました。(貸与件数 3 件)

エ 福祉機器等貸出サービス

一時的に福祉機器(車イス・高齢者疑似体験セット等)が必要な個人及び団体に、無料で貸し出しを行いました。

(延べ貸出数：車イス 59 台・高齢者疑似体験セット 3 組)

オ ふれあいサロン設置の推進・活動支援

地域の高齢者や住民等が気軽に集い、交流や健康増進の場を提供するふれあいサロンの設置を推進し、活動の継続が図れるよう、関連ボランティアや貸し出し可能な物品の紹介などを行いました。また、各サロンの活動も積極的に展開され、18 サロン（新規開所 1、活動再開 2 を含む）で事業が実施されました。

カ フードドライブキャンペーン・子育て世帯食糧支援事業(フードパントリー事業)

10 月から 11 月までをキャンペーン期間とし、広く町民や企業に呼びかけ、食品の寄付を募りました。集まった食品等を活用するとともに、ひとり親世帯のうち、児童扶養手当を受給している世帯等に、パントリー事業（食品等の配布）を行いました。

- ・ 8 月 24 日（土）『フードパントリー』（77 世帯、延べ 306 名に配布）
- ・ 12 月 21 日（土）『年末フードパントリー』（70 世帯、延べ 311 名に配布）
- ・ フードドライブキャンペーン中に集まった食品…466 点、約 141kg

キ 生理用品配布事業

様々な事情により生理用品の用意が困難な方に、1 人 1 パック（30 個入り）の生理用品の窓口配布及びフードパントリー利用者へ配布を行いました。

窓口等配布数：20 パック

ク 小型生活家電寄付受付及び寄付物品提供

家庭で不要となった使用可能な炊飯器等の小型生活家電を募り、困窮し購入が困難な家庭に提供しました。

- ・ 寄付受付件数…掃除機：1 点、卓上ライト：1 点
- ・ 寄付提供件数…炊飯器：2 点、電子レンジ：1 点、電気ポット：1 点
(過年度受付分含む)

ケ フードバンク事業

生活困窮者に対し緊急的に食料を提供し、当座の生活を維持するための取り組みを行いました。

物資は、町民からの寄付、彩の国あんしんセーフティネット事業からの提供や歳末たすけあい事業の一環として町社会福祉協議会として食料購入を行い、事業の強化を図りました。(食料支援件数 延べ 150 世帯)

(4) ボランティアセンター事業

ア ボランティア登録

- ・個人(技術・労力・事業協力等) 27 名
- ・団体(") 41 団体(890 名)

イ ボランティア問い合わせ・相談・活動協力

- ・受付件数 299 件
- ・ボランティア一般 142 件
- ・ボランティアグループ支援 37 件
- ・福祉教育関係 34 件
- ・その他 86 件

ウ 寄付

(物品)・個人	10 件	(寄付金)・個人	7 件
・団体	15 件	・団体	31 件
・企業	7 件	・企業	1 件
・寄付 BOX	3,552 点		

エ 福祉教育ボランティア養成講座

町内の小中学校の総合的な学習におけるアイマスク体験の指導者育成と共に、視覚障害者への理解促進を図るため、2月4日(火)に養護盲老人ホームひとみ園園長の茂木幹央氏から視覚障害者の移動支援の基本的な技術について学びました。(受講者数 11 名)

オ はじめての手話体験教室

聴覚障害への理解を深め、仕事や日常生活の場面で活用できる簡単な手話表現を学ぶため、10月3日(木)、10日(木)、15日(火)、24日(木)、31日(木)に講座を行いました。(受講者数 13 名)

カ 夏のボランティア体験プログラム

気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのため、高校生以上を対象とした介護施設及び保育園でのボランティアの体験プログラムを実施しました。

- ・7月22日(月)～8月30日(木)
- (参加者数 延べ 13 名)

キ 小中学校福祉体験教室への協力

総合的な学習の一環として、児童・生徒の福祉への理解や関心を高めてもらうため、今年度は長幡小、七本木小、上里東小、賀美小、神保原小で開催された福祉体験教室に協力、ボランティアを講師として派遣しました。(派遣回数 9 回、参加児童数 219 名、派遣者数 44 名)

ク 小・中学生のボランティアスクール

小・中学生を対象に、福祉の体験を通して思いやりの心を育て、実生活においても思いやりの心を持って行動できるように体験学習を開催しました。

今年度は7月30日（火）に読み聞かせ体験、31日（水）にひだまりの家上里で読み聞かせを行いました。また8月5日（月）には、SDGsな防災グッズ作りを行いました。（延べ参加者数 35名）

ケ こだま防災フェス 2024 への協力

5月25日（日）に若泉運動公園で開催され、地域の皆さまと共に防災・減災に「対しての理解を深め、実際に有事を想定した体験を行い、自助・共助の重要性を学びました。また児玉郡市の社会福祉協議会が協力し、新聞紙スリッパを作成、身の回りにあるもので身体を守る工夫を体験しました。

コ スキンケア講座

2月25日（火）に美容を通して豊かな時間を楽しんでいただき、好感度を上げるメイクやスキンケアについて学び、外に出るきっかけ作りや今後のボランティア活動に役立てるため、POLAの方を講師とし、メイクやスキンケアの基本を学びました。

（参加者数7名）

サ 災害ボランティアセンターの運営

災害時にどのような支援活動が出来るのか。災害が発生した際に、速やかにボランティアセンターを立ち上げ、被災者本位の支援活動が行えるよう、2月8日（土）に災害ボランティアセンター運営研修会を実施しました。

当日は総勢35名の参加があり、町くらし安全課職員及び埼玉県社会福祉協議会職員による講話と災害時を想定した模擬訓練を行いました。

（参加者：一般住民3名、ボランティア連絡会6名、災害ボランティア7名、社協職員15名、行政職員4名）

(5) 相談事業

ア 心配ごと相談

毎月第三木曜日、午後1時30分から午後3時まで、上里町福祉町民センター研修室において、民生委員・児童委員が町民の日常生活の悩みや心配ごとに対して相談にあたる心配ごと相談を開催しました。（相談件数 9件）

イ 弁護士による無料法律相談

事前予約制で年8回、5月21日（火）、7月22日（月）、8月22日（木）、9月25日（水）、10月23日（水）、11月27日（水）、1月21日（火）、3月18日（火）午後1時10分～午後3時10分（1人30分）、弁護士による法律に関する相談を受け付け、問題解決に向けた指導助言を行いました。（相談件数 32件）

(6) 資金貸付事業

上里町社会福祉協議会福祉資金貸付事業：低所得世帯の生活援助のため、福祉資金の貸付相談を行いました。

(相談件数：1 件、うち貸付件数 0 件、貸付金額 0 円)

(7) 愛の福祉基金事業

国が提唱する地域福祉基金の趣旨を踏まえ、高齢社会に対応するための基金として積み立てしているものです。

この基金運用から生ずる運用益については、他の補助事業対象とならない在宅福祉等の普及・向上・健康生きがづくり事業、ボランティア活動の活性化等のため、社協の事業の実状に即して運用することが出来るものです。(令和 6 年度積立額:10 万円)

(8) 生活福祉資金貸付事業

埼玉県社会福祉協議会生活福祉資金貸付制度

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯へ緊急小口資金貸付の申請受付を行いました。

- ・ 緊急小口資金 (上限：10 万円)

(相談件数： 14 件、うち申請件数 1 件、貸付決定金額 93,000 円)

(9) 高齢者等支え合いサービス事業(高齢者等生活応援隊)【町(町民福祉課)受託事業】

上里町と委託契約を締結し、買い物、掃除、調理、庭の手入れ等の日常生活上の援助を希望するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、協力会員を派遣する事業を行いました。

- ・ 通常のサービス：1 時間あたり商品券 1 枚
- ・ 短時間サービス：10 分以内の作業を同月内 5 回までの利用で商品券 2 枚

※商品券 [商工会が発行する商品券(額面 500 円)]

(延べ利用時間 607 時間、延べ利用者数 576 名)

※利用会員登録者数 109 名、協力会員登録者数 58 名

(10) ファミリー・サポート・センター事業【町（子育て共生課）受託事業】

上里町と委託契約を締結し、子育て中の保護者の日常生活を支援するため、子どもの預かりや送迎等のサービスを行うセンターの運営を行いました。8月には提供会員等を対象に、乳児・小児に対する応急手当（AEDを含む）の指導等の研修会を開催しました。（参加者 7名）

- ・対象：小学校6年生まで
- ・利用料：平日午前7時～午後7時 700円／時間
平日上記以外の時間 800円／時間
土日祝日及び年末年始 800円／時間

（活動件数 68回、活動時間 90時間）

※依頼会員 51名、提供会員 26名、両方会員 6名

(11) 生活支援体制整備事業【町（高齢者いきいき課）受託事業】

上里町と委託契約を締結し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくにあたり、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう行政と生活支援コーディネーターが連携し、事業を実施しました。

ア 地域支え合い活動

- ・賀美小学校地区では、令和3年度に活動開始した「賀美安心サポートの会」の活動に対し、補助金交付や運営に対し助言等の継続支援を行いました。
- ・神保原小学校地区では、令和5年度に結成した組織「支え愛とおせっ会」が令和6年4月より本格活動開始となり、補助金交付や運営に対し助言等の支援を行いました。
- ・七本木小学校地区においては、三町地区が単独で地域支え合い活動を開始するにあたり、組織立ち上げの相談支援を行いました。

イ 移動販売

令和6年6月より㈱カスミによる移動スーパーが運行開始し、高齢者等の買い物を支援するとともに、地域での見守りやコミュニケーションの場として活用いただいております。生活支援コーディネーターが45ヵ所の販売場所をまわり、地域の皆さまのご意見を集めたり、行政区長等と協働し地区毎にチラシ配布やポスターを掲示するなど情報発信も行いました。

また、寄せられたご意見をもとに、町・㈱カスミと協議し、事業継続に向け、運行場所およびスケジュールの見直し等の定着支援を行いました。

(12) 福祉サービス利用援助事業

日常生活自立支援事業(あんしんサポートねっと事業)

知的障害、精神障害、認知症等により判断能力が不十分な方が、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用手続き、日常生活上の助言、日常的な金銭管理や重要書類の預かりサービス等を行いました。(実施件数 継続利用 7名)

(13) 老人居宅介護等事業

介護保険法に基づき、要介護、要支援及び事業対象者の認定を受けた利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介護や日常生活全般の援助を行うヘルパーステーションの運営を行いました。

ア 要介護(介護給付)

平均利用者数 15.5名、延べ訪問件数 2,338件、延べサービス時間 2853.9時間

イ 要支援・事業対象者(総合事業)

平均利用者数 9名、延べ訪問件数 623件、延べサービス時間 623時間

(14) 居宅介護支援事業

在宅介護や在宅生活に関する相談援助、居宅サービス計画(ケアプラン等)の作成、介護サービス提供事業者との連絡調整等を行う居宅介護支援センターの運営を行いました。また、介護予防把握事業を町より受託し、支援を要する高齢者等を早期発見するため、個別訪問による実態把握を行いました。

ア ケアプラン

延べ作成件数 706件、利用者実人数 76名

イ 介護予防ケアプラン・ケアマネジメント業務

延べ作成件数 182件、利用者実人数 22名

ウ 介護予防把握事業

延べ訪問件数 29件

(15) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、居宅介護の受給資格を認定された利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介助や家事援助及び生活等に関する相談並びに助言その他の必要な日常生活上の支援を行いました。

平均利用者数 13.1名、延べ訪問件数 2,183件、延べサービス時間 1,868時間

(16) 日赤埼玉県支部上里町分区事業

ア 日赤活動資金募集の推進

町民・区長・地区役員等のご協力により、募集期間である5月を中心に日赤活動資金募集の推進を行い、多くの皆さまから資金(会費)を納入いただきました。

令和6年度日赤活動資金募集実績額

(単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
476,100	174,200	626,200	536,650	588,600	2,401,750

イ 赤十字奉仕団活動への協力

- ・上里町防災フェスティバルにおける炊き出し訓練

8月3日(土)に開催された上里町防災フェスティバルにて、赤十字奉仕団員による炊き出し訓練を実施しました。当日は、ハイゼックス(炊飯袋)を用いて200袋・400食分のご飯を炊き、非常食と一緒に来場者に配布しました。

- ・防災体験合宿における講義(炊き出し準備を含む)

8月30日(金)に実施された役場主催の「避難所体験防災体験合宿」で、赤十字奉仕団員の指導のもと、災害時を想定した炊き出し体験をしました。

(参加人数 12組、子ども12名、保護者12名 合計24名)

- ・日赤講習会「避難生活を生き抜くための知恵と工夫(高齢者支援コース)」の開催

日本赤十字社埼玉県支部協力のもと避難所生活における高齢者の支援について、エコノミークラス症候群などからだへの影響と対応を学びました。また、知って役立つ技術として、「ホットタオル、毛布ガウン、新聞紙の足カバー」作成の実技指導を受けました。

(10月24日(木)参加人数 18名)

- ・赤十字防災セミナー「おうちのキケン」の開催

日本赤十字社埼玉県支部協力のもと地震の際に起こるキケンについてゲームを通して学びました。

(2月1日(土)参加人数子ども9名、保護者が6名 合計15名)

(17) 埼玉県共同募金会上里町支会事業

ア 赤い羽根共同募金

町民・区長・地区役員等のご協力により、募集期間である10月を中心に赤い羽根募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和6年度共同募金(赤い羽根募金)実績額

(単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
447,550	268,100	591,660	531,640	514,910	2,353,860

イ 歳末たすけあい募金(歳末たすけあい運動)

新たな年を迎える時期に、町民の福祉向上を目指し、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、関係機関と協働し、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、各種福祉事業に取り組みました。

この歳末たすけあい運動の財源とするため、町民・区長・地区役員等のご協力により、運動時期である 12 月を中心に歳末たすけあい募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和 6 年度共同募金(歳末たすけあい募金)実績額

(単位：円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
411,850	328,000	506,200	549,970	428,620	2,224,640

ウ 歳末たすけあい募金配分金事業

区分	慰問数	内容等	配分金額
困窮世帯	42 世帯	慰問金配付(10,000 円/世帯 家族 1 名増につき 3,000 円増額)	477,000 円
在宅高齢者等	77 人	紙おむつ等購入支援(1 名 5,000 円分の地域商品券を配付、郵送料等)	454,403 円
町内福祉施設	25 施設	みかん配付(61 箱)	296,460 円
生活困窮者支援用食糧購入		米・缶詰等長期保存可能食品	127,876 円
災害ボランティアセンター用備品購入		ポータブル電源(2 個)	235,400 円
		排水用水中ポンプ(1 個)	30,248 円
		スノーダンプ [雪の除去] (3 個)	25,668 円
		プライバシーテント(4 個)	34,600 円
社協だより発行代		町民への事業報告・収入報告等	60,000 円
合 計			1,741,655 円

※2,224,640 円－1,741,655 円＝482,985 円

(募金実績額) (配分金額) (残額)

残額 482,985 円は、埼玉県共同募金会へ送金し、
上里町分として次年度へ繰り越し。

令和 6 年度事業報告書の附属明細書

令和 6 年度事業報告書の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。